

「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」について

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会において、全国から集めた使用済み小型家電に含まれる貴金属を活用して、金・銀・銅の各メダルを作る取り組みを進めています。当町もプロジェクトへ参加しており、町内の園児・児童・生徒及び保護者へ向けた啓発活動として、9月～12月にかけて、園舎・学校巡回回収を実施し、**648個(約180kg)**の小型家電を回収することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

●使用済み小型家電の回収について

役場本庁舎及びペスタロッツ館へ、使用済み小型家電回収BOXを設置しています。なお、プロジェクトとしての回収受付は、2019年3月31日(日)までとなっておりますが、プロジェクト終了後も、使用済み小型家電の回収は、継続いたしますので、ご協力をお願いいたします。

【回収できる物】回収BOXの投入口(縦11cm×横28cm)に入る大きさの家電製品



庁舎入口横



ペスタロッツ館エレベーター横



携帯電話・PHS



電話機



デジタルカメラ



ビデオカメラ



携帯型ゲーム機



ポータブルラジオ



電卓



ACアダプタ



メモリーカードなど

『鏡野町海ごみ発生抑制事業』の取り組みについて

現在、世界各国で、「海ごみ」が問題になっていることはご存知でしょうか。私たちの住む鏡野町は山間部であり、海のごみは関係がないように思われがちですが、瀬戸内海の海ごみの原因は、最近の研究で山や町から出たごみ(自然物及び人工物)が、川を流れて、海へと運ばれたものが大半を占めているという結果が出ています。

「海ごみ」は、漂着、漂流、海底と3種類あり、海岸、海面、海底と広範囲であることと紫外線を浴びることで、プラスチック製品は、分解され、「マイクロプラスチック」と呼ばれる小さなプラスチック片となり、回収が困難となっています。また、これらの「海ごみ」を餌と間違え、海洋生物が捕食し、生態系に影響をきたす可能性があるなど様々なことが問題となっています。そこで、町では、【やめようポイ捨て なくそう海ごみ】をテーマに『海ごみ発生抑制事業』に取り組んでいます。少しでも理解し、「海ごみ(ポイ捨て)」をなくするため、学校を通じ、生徒児童の家庭を中心に980人に啓発冊子とアンケートを配布し、アンケートの回収を行いました。回収は、約190名分(約19%)と非常に低く関心の低さが浮き彫りとなりました。しかしながら、回収したアンケートの中の多くには、家庭で出来る海ごみ(ポイ捨て)対策を記述して頂いておりますので、少し紹介いたします。

- 家族で、海ごみ対策の話をする。又、地域で話をする。ポイ捨てをなくす意識改革。
- 子どもにもわかるような魚の写真など大変なことになっている様子をもっと見せる。
- 家族でポイ捨てをしている人がいたら注意する自分たちもポイ捨てをしない。
- 家の周りの片付け、台風などで飛ばされない様に工夫する。
- プラスチック製品の容器は購入を控え、ごみの分別やごみ出しの日などのルールを守る。
- 3Rの意識を持ってごみの量を減らすこと。無駄な買い物をしないこと。
- エコバックを使ってごみ自体を減らす。 など

今後の事業の参考にさせて頂きたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



お問い合わせ先 鏡野町くらし安全課 環境係 担当：山崎 電話(0868)54-2780